

令和 3 年度芝山町鳥獣被害アンケート調査の結果について

調査対象	農家組合に所属している町内農業者
調査方法	農家組合回覧
調査時期	令和 4 年 1 月～ 2 月

作物ごとの被害件数について

- ・スイカ及び落花生の被害が特に大きく、被害の半数を占めています。
- ・次点で、ブドウ、トウモロコシについても被害が多く発生しています。
- ・スイカと落花生、トウモロコシについては同一のほ場で被害が発生している場合もあり、ほ場周辺に鳥獣が定着してしまっていることが考えられます。

作物	件数
スイカ	18 件
落花生	16 件
ブドウ	11 件
トウモロコシ	9 件
柿	2 件
ミカン	
イチゴ	1 件
カボチャ	
キャベツ	
そら豆	
大豆	
トマト	
ブロッコリー	
野菜全般	

鳥獣ごとの被害割合について

- ・全体ではハクビシン、アライグマ、タヌキの小型獣による被害が約 6 割、カラスによる被害が約 3 割となっています。
- ・イノシシについては、今回の調査では報告がありませんでした。
- ・その他の鳥獣について、アナグマやキジ等による被害が発生しています。

鳥獣	割合(%)
ハクビシン	37.2
アライグマ	8.5
タヌキ	17.8
カラス	27.1
その他	6.2
不明	3.1

現在行っている対策について

- ・ハクビシン等の獣類に対しては電気柵、カラスに対してはテグスやテープによる対策が多く行われています。
- ・電気柵を設置した上で被害が発生してしまっていることから、雑草等により漏電してしまっていることが考えられます。

対策方法	件数
電気柵	17 件
ネット、ネット柵	10 件
テグス、テープ	9 件
カイト、鳥の模型	4 件
カゴ	2 件
箱わな	1 件
フラッシュライト	
かかし	
なし	14 件

地域（大字）ごとの被害件数について

- ・被害報告の無い地域もありますが、概ね町内全域で被害が発生していることから、町内各地で鳥獣が定着してしまっていることが考えられます。

地域	件数
朝倉	1件
岩山	9件
大里	7件
大台	4件
小原子	2件
香山新田	2件
小池	2件
境	2件
高田	5件
高谷	7件
殿部田	6件
新井田	5件
新井田新田	1件
菱田	5件
山中	5件
飯櫃、上吹入、 芝山、下吹入、 宝馬、牧野、 宮崎、山田	報告なし